



としょかん じどうしつ
図書館の児童室コーナーにある

オススメの本を紹介します。



おはなしでできく 名曲えほん

おおたに みねこ/文 渡辺 暲/絵
かわいがつきせいさくじょ しゅつばんが
河合楽器製作所・出版部 76/オ/08

曲をつくる人を作曲家といいます。どの曲にも、作曲家がつくったときの思いや、聴いてくれる人たちに伝えたい願いがこめられています。

この本は、多くの人たちに愛されてきた曲にまつわるできごとが、おはなしになっています。よく知っているという曲も、このおはなしを読んでからもう一度、聴いてみてください。きっと、これまでとはちがって聞こえると思います。

(小学校 中学年向け)



リサイクル・作って遊ぶ 4 音楽遊び

しまざき あつこ ちよ 島崎 篤子/著 ポプラ社 75/リ/24

『リサイクル・作って遊ぶ』は、空き缶や空きビンといった普段ならゴミとして捨ててしまうものに手を加えて、遊んだり、生活の役に立てる道具にしたりするシリーズです。

今回紹介する第4巻は、音楽がテーマ。紙コップをマラカスに、カマボコ板をカスタネットに、段ボール箱をたいこに変身させることができます。楽器作りのほかにも、音が出るもの探しや、楽器を使ったリズム遊びなども紹介されています。

みなさんも、オリジナルの楽器作りにぜひチャレンジしてみてください。

(小学校 高学年向け)

チェロの木



いせ ひでこ/[作] 偕成社 E/カイ/13-29

少年のおじいさんは森の木を育てる仕事を、お父さんはバイオリンやチェロをつくる仕事をしていました。少年は小さいころから森の中を歩き、森の変化を感じながら成長していきます。

ある日、少年はお父さんがつくったチェロを演奏するパブロさんに誘われ、教会の演奏会に出かけました。演奏を聴いた少年が、チェロに心をうばわれていたことに気づいたお父さんは、子ども用のチェロをつくり始めます。

あれからずっとチェロを弾き続けている少年は、おじいさんともお父さんとも違う道を進みます。彼が選んだ道とは……。

季節とともに移り変わる美しい森の風景と、祖父から父へ、父から子へと思いが受け継がれるチェロの音色を感じられる絵本です。

(小学校 中学年向け)

キュッパのおんがくかい

オーシル・カンスタ・ヨンセン/さく
ひだに れいこ/やく
ふくいんかんしょてん 福音館書店 E/フク/14-30



キュッパは丸太の男の子です。もみの木のググランとおばあさんの家に遊びにきました。二人は「音楽隊の行進」のテレビに夢中になります。おばあさんが電話をしてくれて、二人は音楽隊に入れることに。次の日、音楽隊の練習場所にいくと、指揮者が待っていました。

まずはトランペットの吹きまね練習を始めます。キュッパは、楽譜がよめません。それを知らない指揮者は、一週間後の音楽会で一人で吹くように言います。

さて、練習してもその音も出せないキュッパはどうなったのでしょうか？

(小学校 低学年向け)

ボランティアさんのおススメ本



おおきくなるっていいことは

なかがわ ひろたか/文 村上 康成/絵
どうしんしゃ 童心社 E/トウ/20-21X23

この本は、おおきくなるってどんなことか、子どもに向かって言っている。おおきくなるっていいことは、今着ている服も小さくなるし、新しい歯もはえてくる。中には、あまり泣かないって書いてある所もあります。

おおきくなるっていいことは、幼稚園では、年少さんから年長さんになっていくから、自分より小さな人がおおくなってくる。そして、小さな人にやさしくすることができる。

おおきくなるっていいことは、どんなことができるようになるかを描いている絵本です。

(朗読サークル秋桜)

がっき ほん 楽器の本



よみがえる二百年前のピアノ

きわ みずえ/著
くもん出版
76/ヨ/14



春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9時～午後8時

休館日：月曜日(休日の場合は、その直後の休日でない日)

電話：(0568)85-6800

小学校のホームページからもアクセスできるよ

ホームページにあるバナーをクリック！ →

